



# 県内経済情勢

## (令和8年4月判断)

令和8年4月22日

財務省関東財務局  
千葉財務事務所


照会先

千葉財務事務所 財務課 (TEL 043-251-7213)

ホームページ <https://lfb.mof.go.jp/kantou/chiba/>

## 1. 総論

### 【総括判断】「県内経済は、持ち直している」









項目	前回（8年1月判断）	今回（8年4月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	

（注）8年4月判断は、前回8年1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

#### （判断の要点）

個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。雇用情勢は、緩やかに持ち直しつつある。

#### 【各項目の判断】

項目	前回（8年1月判断）	今回（8年4月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	
生産活動	持ち直しつつある	持ち直しに向けた動きに一服感がみられる	
雇用情勢	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	
設備投資	7年度は減少見込みとなっている	7年度は減少見込みとなっている	
企業収益	7年度は減益見込みとなっている	7年度は増益見込みとなっている	
企業の景況感	「下降」超となっている	「下降」超となっている	
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている	
公共事業	前年を上回っている	前年を下回っている	

#### 【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が持ち直しを支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響や米国の通商政策をめぐる動向などに注意する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

物価上昇の影響がみられるなか、百貨店販売額やホームセンター販売額は前年を下回っているものの、スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、ドラッグストア販売額などは前年を上回っている。乗用車の新車登録届出台数は前年を下回っている。娯楽などは緩やかに回復しつつある。このように個人消費は、緩やかに回復しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 金製品などの高額商品や、人気ブランドの菓子といった食料品は好調であったものの、バレンタイン商戦は客単価が減少し低調であったほか、春物衣料の動きが鈍く、苦戦している。(百貨店・スーパー)
- 値上げ等により売上げは前年を上回っている。ただし、おせち料理などハレの日需要に大きな影響は感じられないものの加工食品などの「安さ」に対する顧客の目線は厳しく、価格のほかパック重量や品揃えなど対応の巧拙が重要。(百貨店・スーパー)
- 節約志向の強まりから客数がやや弱含んだものの、価格転嫁の進展により売上げ全体としては前年を上回っている。ベーカリーや店内調理の弁当など顧客満足度の高い商品等が好調であり、客単価押し上げに寄与している。(コンビニエンスストア)
- 食料品を中心とした値上げが続く中、生活防衛意識の高まりから割安感のある大容量商品の売れ行きがよい。また、寒さが長引いた前年に比べ鼻炎薬や点眼薬など花粉対策商品の動き出しが早く、売上げをけん引している。(ドラッグストア)
- 特定車種に人気が集まり受注停止となることが多いほか、4月の税制改正前でもあること等から販売台数は前年を下回っている。様々なコストが上昇している中、保有以外の自動車利用を選択するユーザーが増えていることも一因とを感じる。(自動車販売)
- 中国人観光客の減少や降雪等による影響が一定程度あったものの、各種イベントやキャンペーンが好評を博しており来場者数の増加につながっている。(娯楽)
- 前年、値上げを実施したもののなお低価格を維持しており、顧客の節約志向を捉えている。値上げ後もむしろ注文点数が増え客単価が上昇しているほか、駅前立地店舗が多いこともあって客数も伸びている。(飲食)

### ■ 生産活動 「持ち直しに向けた動きに一服感がみられる」

生産を業種別にみると、食料品や生産用機械などが増加しているものの、化学、鉄鋼、石油・石炭などが減少しており、全体としては、持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。

- 海外の日本食ブームが続いているほか、国内においても健康・美容意識の高まりを捉え販売に注力した商品が好調であるなど、売上げは前年を上回って推移しており、生産も拡大している。(食料品)
- 顧客企業の設備更新に伴う当社製品への需要について、国内においては業績等を背景に二極化がみられる中、海外においては自動化に積極的な企業を中心に伸びており、当社全体の生産量も前年を上回って推移している。(生産用機械)
- 海外製品の大量供給等による市況悪化に加え、足下では中東情勢緊迫化の影響も生じており、プラントは低稼働状態。(化学)
- 建築コスト上昇や人手不足を背景として工事案件の見合わせや先送り等による需要の減少が続いており、生産量も前年並以下の水準となっている。(鉄鋼)

### ■ 雇用情勢 「緩やかに持ち直しつつある」

新規求人数は減少しているものの、有効求人倍率は横ばいとなっている。雇用保険受給者実人員は前年を上回っている。このように雇用情勢は、緩やかに持ち直しつつある。

- 新卒採用に当たり、前年は基本給を引き上げて必要人数を確保することができたが、今年は引上げができず苦戦している。今後ともこのような状況が続くと判断し、工場における省人化設備の導入を進めている。(製造)
- 人手不足感が強く他社との採用競争が激化している。採用に至っても、その後すぐ転職されてしまうケースが珍しくなくなっていると思われるので、転職希望者に魅力的と映る職場環境の構築など中途採用も強化していきたい。(小売)
- このところ接客など現場系の職種の流動性が高まっており、速やかな補充が難しい場合はスポットワークを活用することも多い。より高賃金を求めて転職するケースも多いと思われるので、福利厚生の見直し等により定着率向上を目指している。(娯楽)

### ■ 設備投資 「7年度は減少見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」8年1~3月期

- 製造業では前年比増減率19.2%の減少見込み、非製造業では同36.4%の減少見込みとなっており、全規模・全産業では同35.0%の減少見込みとなっている。

### ■ 企業収益 「7年度は増益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」8年1~3月期

- 製造業では前年比増減率25.0%の増益見込み、非製造業では同3.7%の減益見込みとなっており、全規模では同0.2%の増益見込みとなっている。

### ■ 企業の景況感 「『下降』超となっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」8年1~3月期

- 先行きについては、8年4~6月期に「上昇」超に転じる見通しとなっている。

### ■ 住宅建設 「前年を上回っている」

- 新設住宅着工戸数をみると、持家、貸家、分譲住宅のいずれも前年を上回っており、全体としても前年を上回っている。

### ■ 公共事業 「前年を下回っている」

- 公共工事請負金額をみると、前年を下回っている。

# 県内経済情勢 (令和8年4月判断)

## (資料)

目次	(頁)
1 . 個人消費 . . . . .	1
2 . 生産活動 . . . . .	2
3 . 雇用情勢 . . . . .	3
4 . 設備投資 . . . . .	4
5 . 企業収益 . . . . .	4
6 . 企業の景況感 . . . . .	4
7 . 住宅建設 . . . . .	5
8 . 公共事業 . . . . .	5

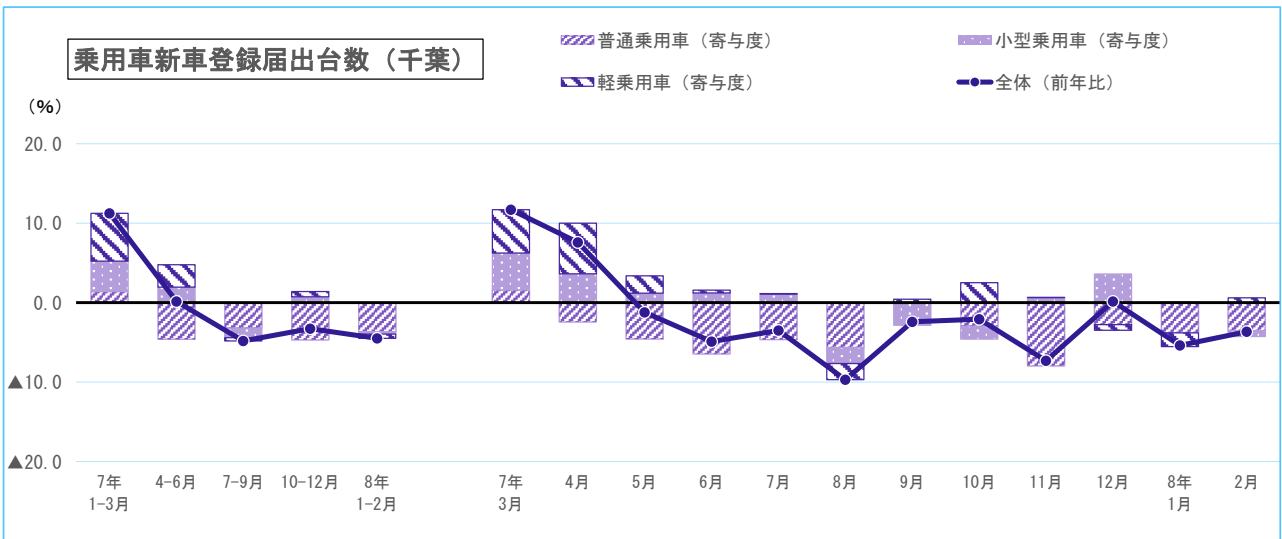
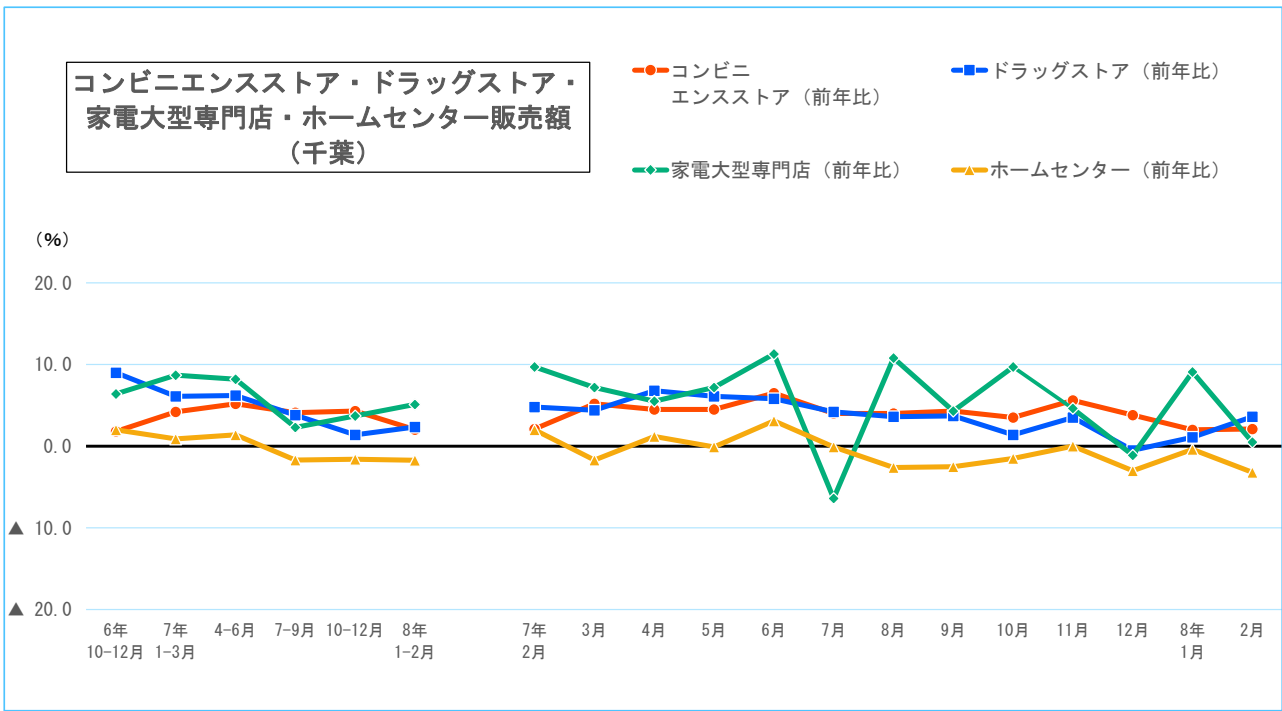
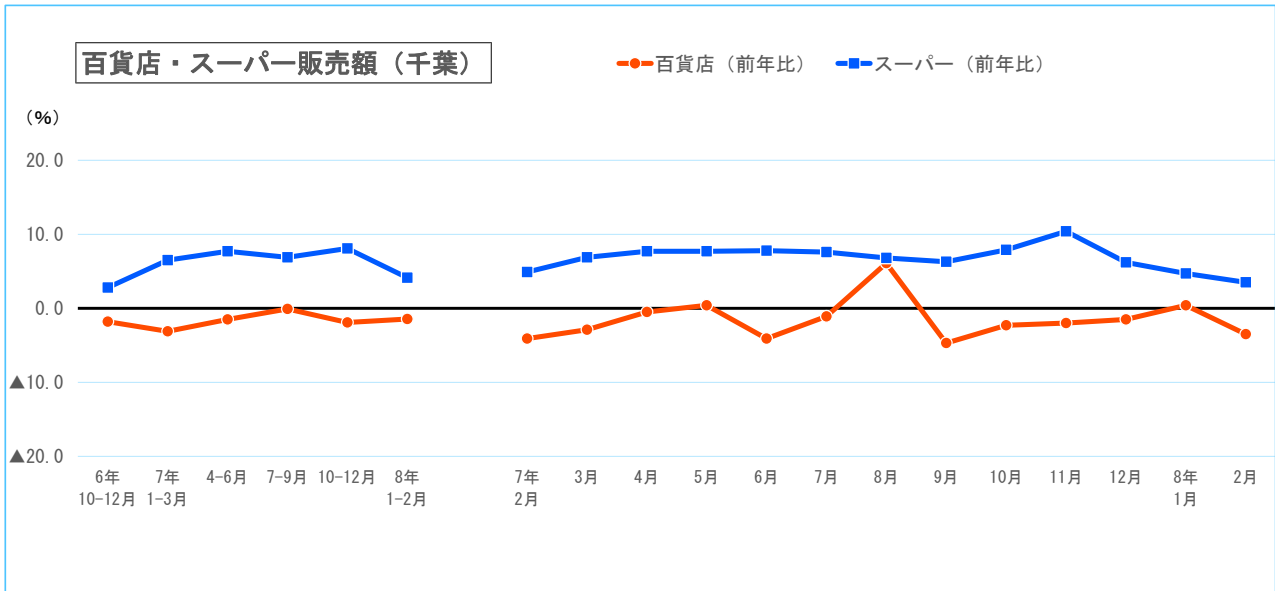
令和8年4月22日

財務省関東財務局

千葉財務事務所

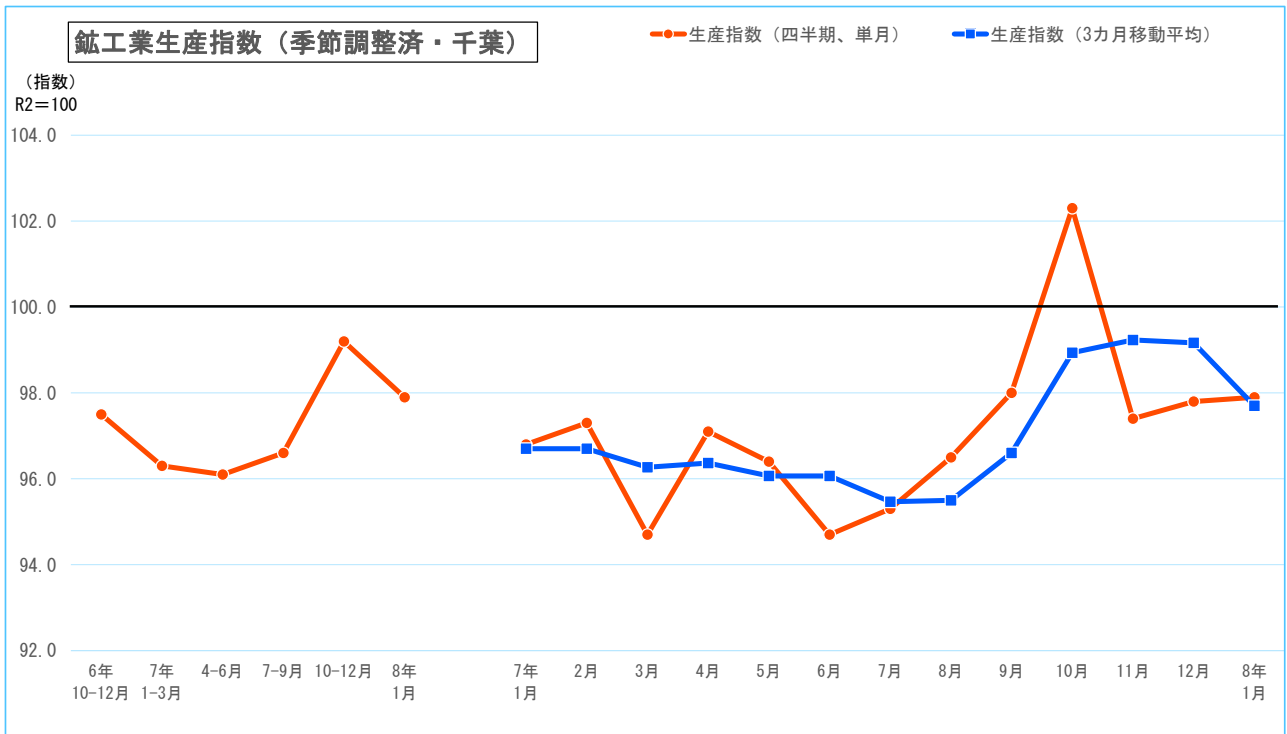
# 1. 個人消費

緩やかに回復しつつある

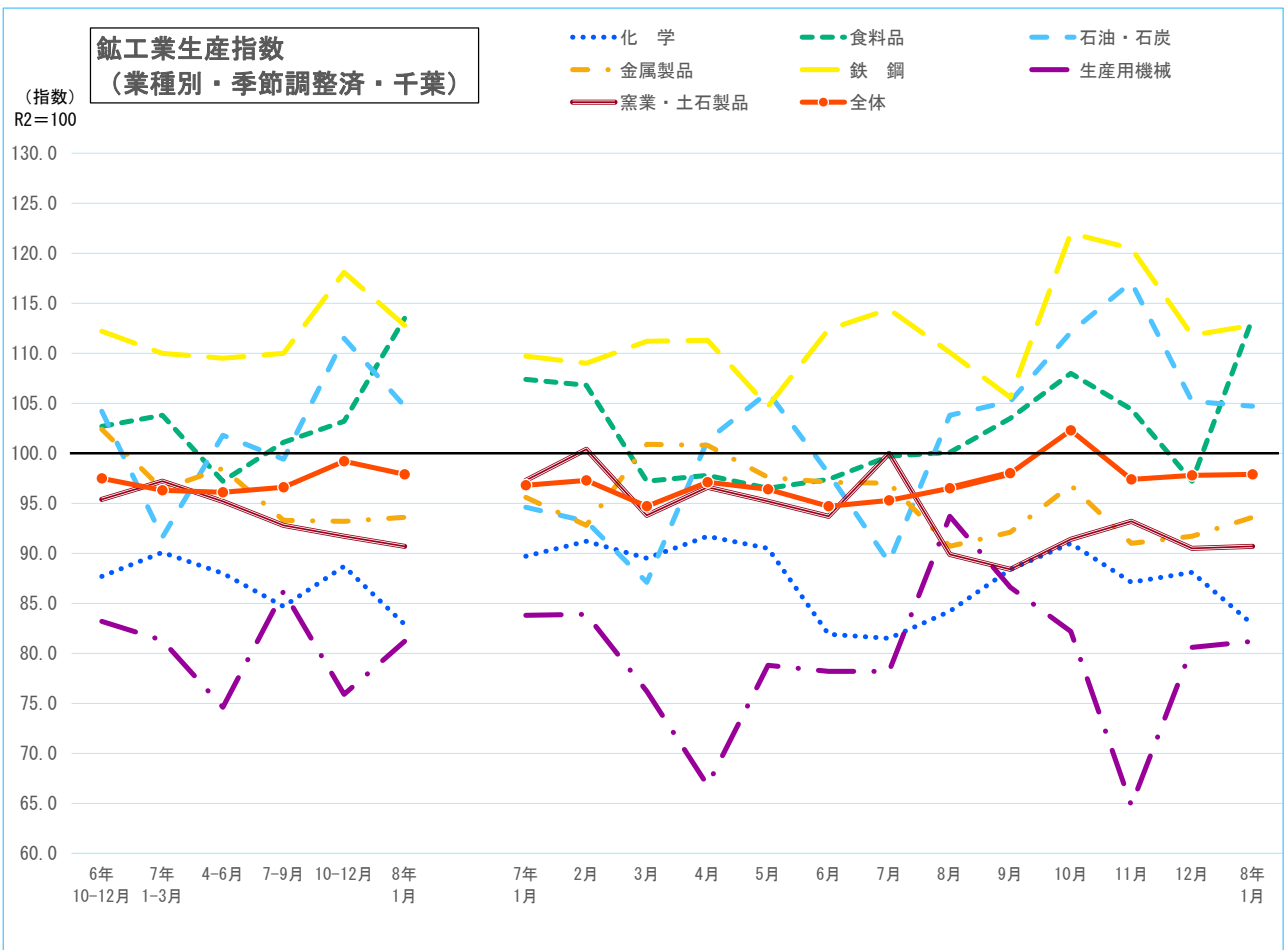


## 2. 生産活動

持ち直しに向けた動きに一服感がみられる



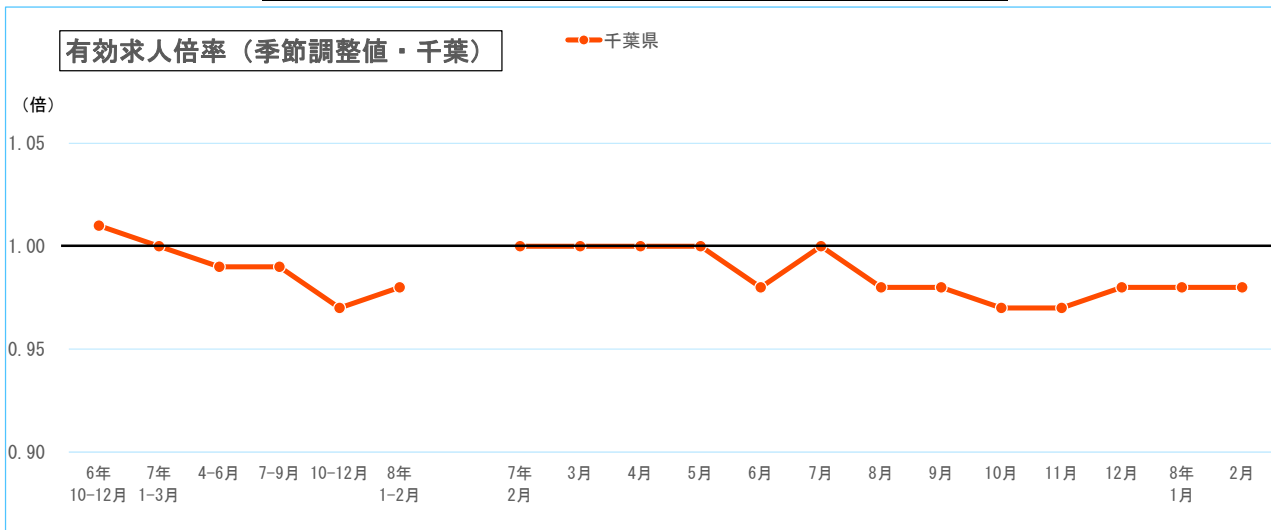
【千葉県】



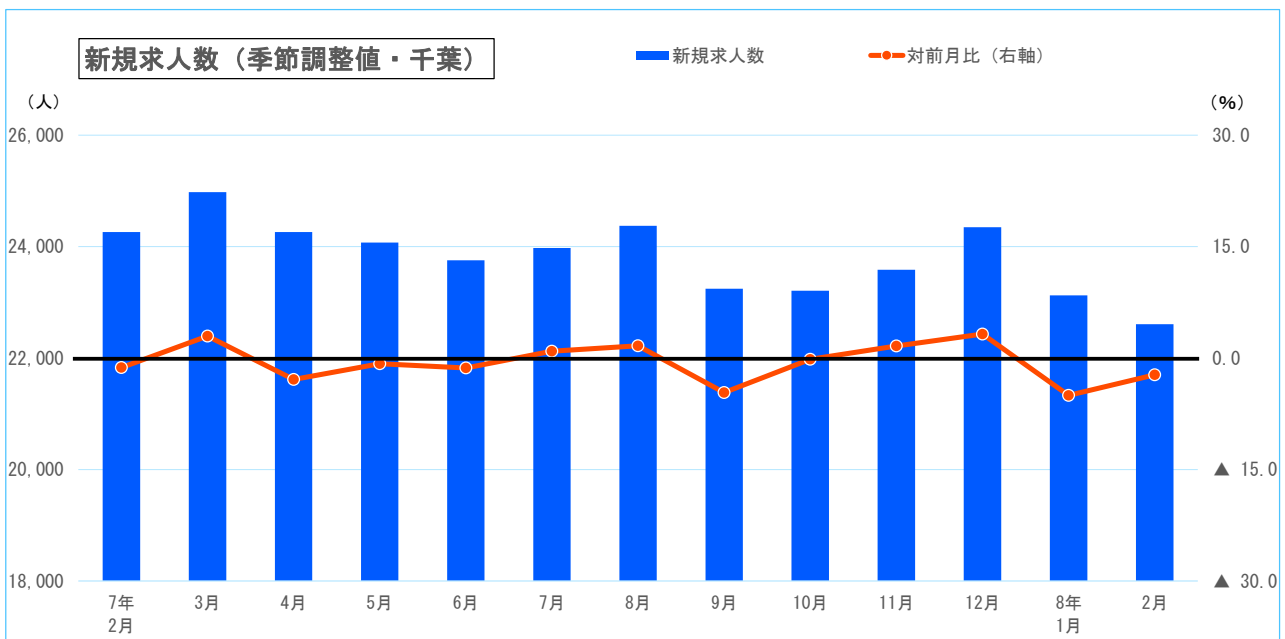
【千葉県】

### 3. 雇用情勢

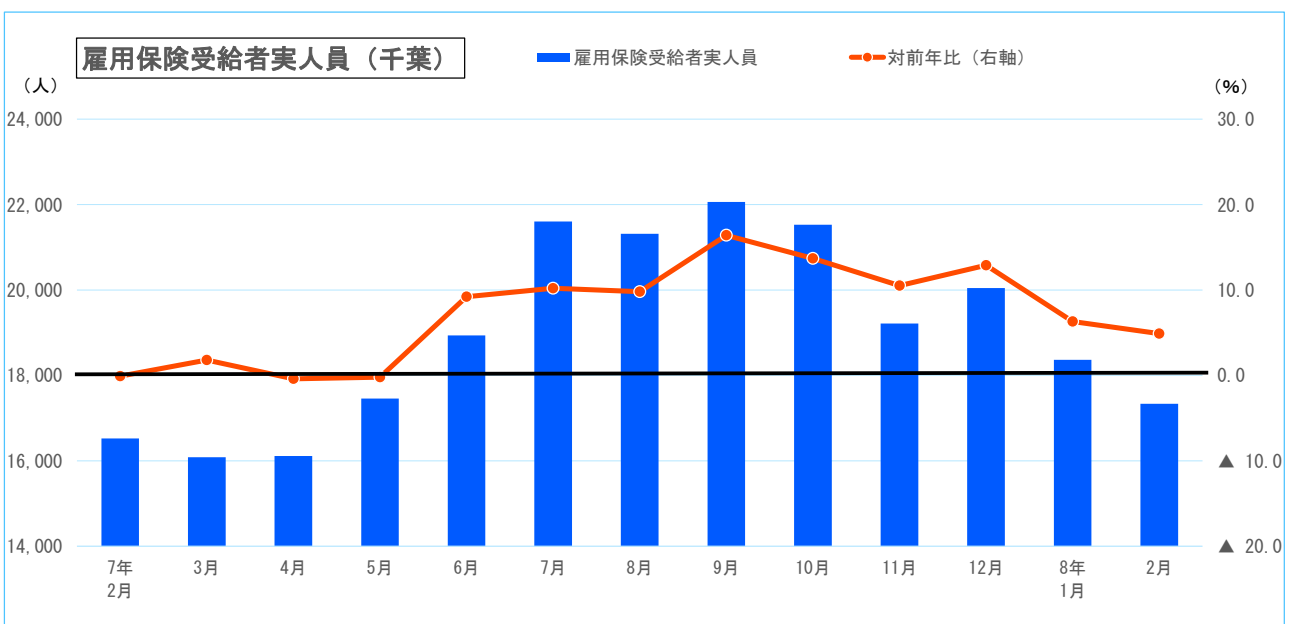
緩やかに持ち直しつつある



【千葉労働局】



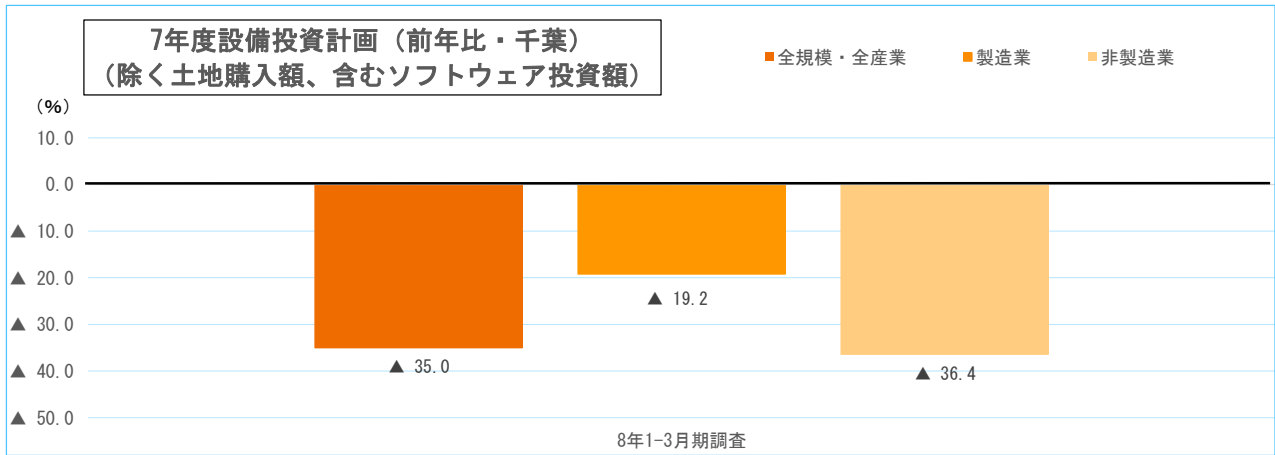
【千葉労働局】



【千葉労働局】

#### 4. 設備投資

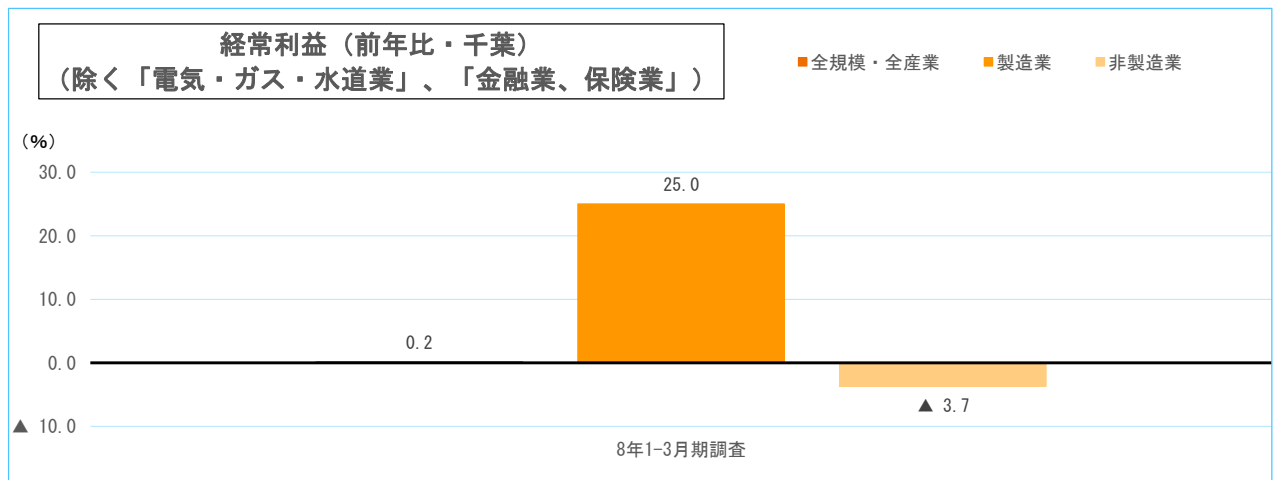
7年度は減少見込みとなっている



【千葉財務事務所 (法人企業景気予測調査)】

#### 5. 企業収益

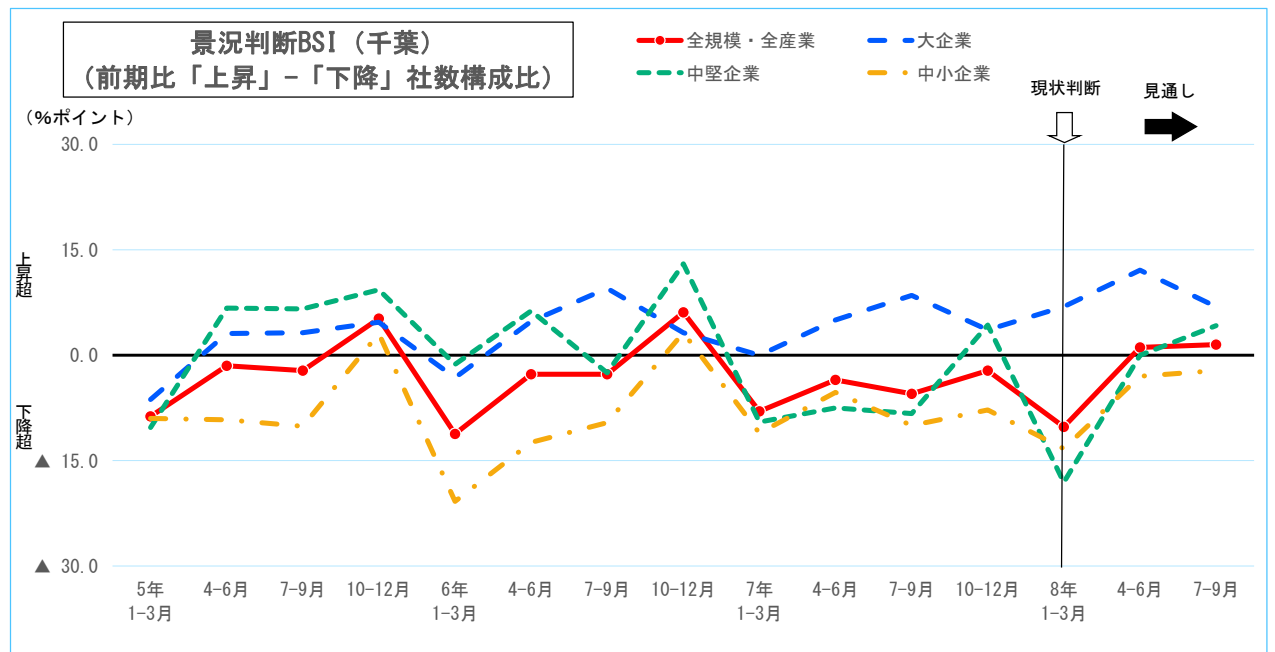
7年度は増益見込みとなっている



【千葉財務事務所 (法人企業景気予測調査)】

#### 6. 企業の景況感

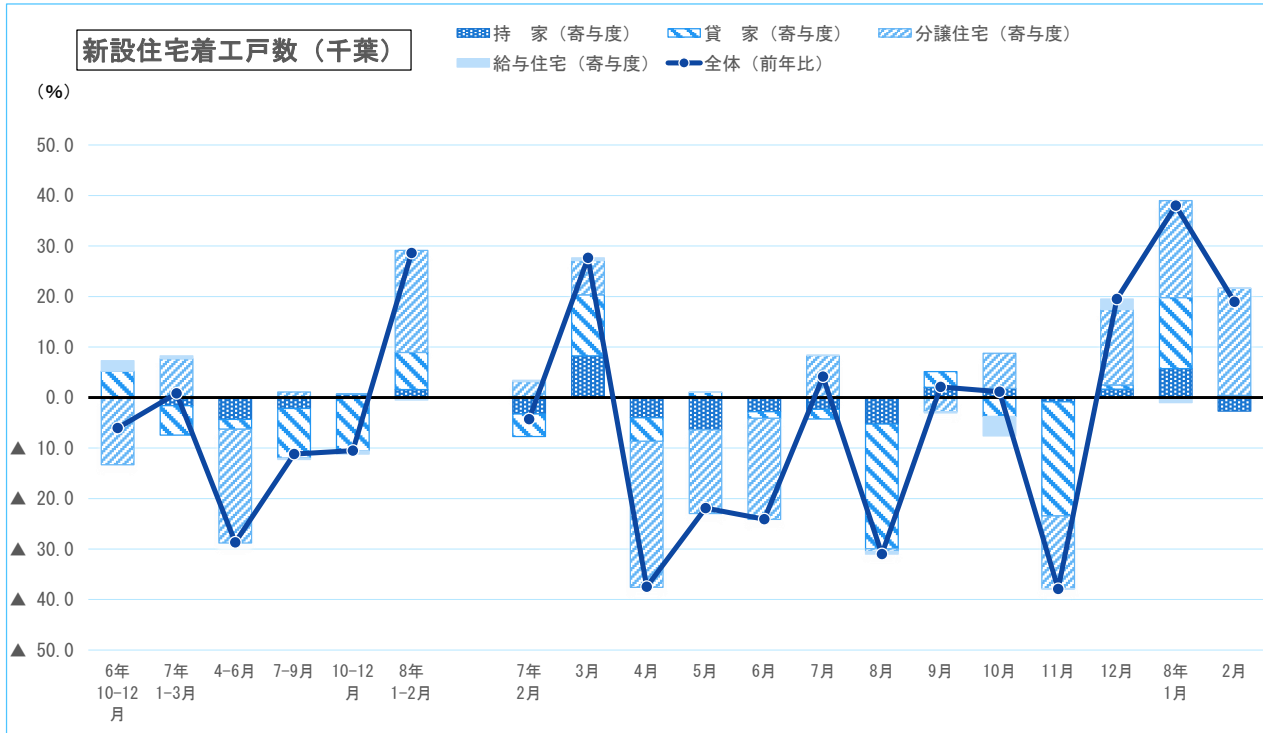
「下降」超となっている



【千葉財務事務所 (法人企業景気予測調査)】

## 7. 住宅建設

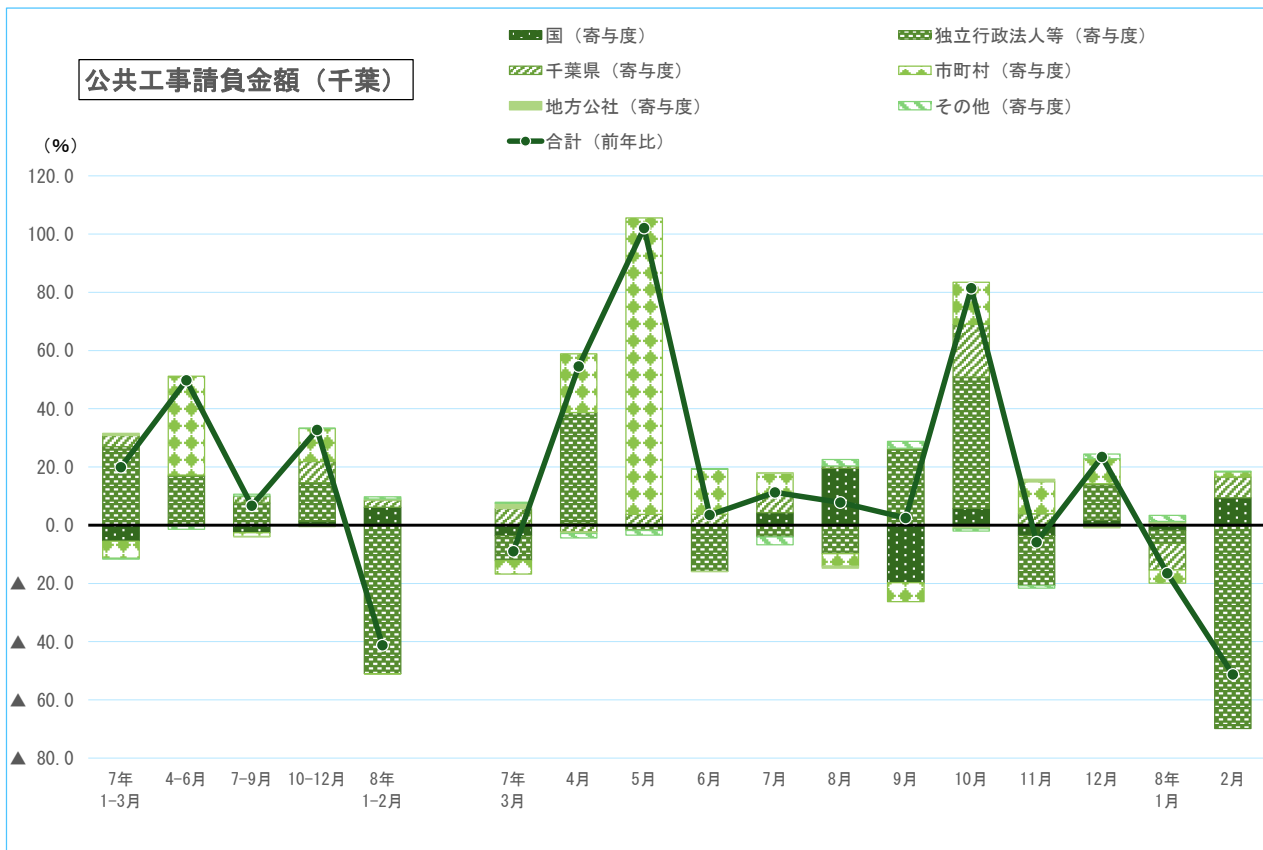
前年を上回っている



【国土交通省】

## 8. 公共事業

前年を下回っている



【東日本建設業保証株式会社】